

みなさまへ

初めまして、平成 10 年度第 3 次隊青年海外協力隊 OG のペンネーム「むよし むよ」
（“虫が喜ぶ、虫の世に”という農薬反対のメッセージ）です。

この度、「いのり」というちょっと不思議な大人向けの絵本を描きました。

<https://ehon.alphapolis.co.jp/content/detail/757>



絵本を描いた動機は、私が現在罹っている化学物質過敏症を広く知っていただきたいからです。

今、日本では 700 万人がこの病気の可能性があると言われています。
しかし、その病態は今までの医学界の常識を超えたものであったため、多くの学者や
医師がこの病気を認めようとはしませんでした。
そのため研究および知識の普及が遅れてしまったと言っても過言ではなく、病気はず
でに多くの子供たちにも表れているとされています。
新潟県上越市では、中学 3 年生で約 18%の生徒たちに化学物質過敏症のような症
状が見られたとの報告があります。

私は現在深刻な化学物質過敏症患者になりましたが、様々な情報から実は自分は
少なくとも 11 歳の頃から症状が出ていたことに気づきました。
医師がこの病気のことを全く知らなかったために 14 年間も間違った治療が行われて
きました。これにより生じた健康被害は甚大でした。
投薬をやめ、環境や食べ物を安全なものに変えると、主な症状は消失したのです。
医師も私も驚きました。
医師会が、この病気を認めた行動を起こしたのが 2017 年 11 月と聞いています。
絵本では 11 歳の頃の事から描きました。

開発途上国でもこれから急速に拡大する恐れのある疾患です。

深刻化すると、教科書にさえ反応するようになり、学校に行けなくなります。

もちろん、通常的生活さえ送れなくなるのです。

全ての財産が失われるとさえ言われています。

また、家族の理解も得られない中で離婚されてしまうことが多いとも言われています。

先日私の家では、義母が主人に「むよさんに実家に帰ってもらったら」との提案をしたと聞いています。

様々な要因から自殺者が出ています。

この絵本が、化学物質過敏症を知るきっかけとなり、みなさまやみなさまのご家族が発症しないように、気をつけていただけたら幸いです。

もし、よろしければ、私のホームページからコピーしていただき、ご自身の必要と思われる場所に置いていただけたら嬉しいです。

https://muyoshi.amebaownd.com/pages/2104365/page_201807191313

さらに、お友達等にもご紹介、転送していただけたら幸いです。

この絵本は、化学物質過敏症の専門医にも内容を確認していただいています。

今回は日本語版で描きましたが、次はこの英語版も作成します。

また現在は、どうやったら子供たちを化学物質過敏症を発症させずに育てられるかという絵本を描くため2人の専門医に取材を行ったところです。

以上2冊の絵本は、でき次第私のホームページで紹介します。

<https://muyoshi.amebaownd.com/>

ご質問やご感想は、以下のメールアドレスおよび携帯電話番号にお寄せください。

tomomi-samaki@hotmail.co.jp

090-4227-2592

余談

私は、無農薬、無肥料栽培の野菜しか食べられません。

(肥料が、危ないと言われています)

無農薬、無肥料で野菜を育てると、栽培年数が多くなればなるほど虫がつかなくなると言われています。

栄養価も、ほかの農法に比べ高いと言われています。

この農法は、環境にやさしい農業として注目されています。